

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 名古屋市立山田高等学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例：小中高一貫 )  
所在地 〒 452-0817  
愛知県名古屋市西区二方町19-1  
E-mail yamada-h@nagoya-c.ed.jp  
Website http://www.yamada-h.nagoya-c.ed.jp/  
幼児児童生徒数 男子 272名 女子 560名 合計 832名  
幼児・児童・生徒の年齢 15歳～18歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

### I 「命」に関わって：

- ① AED トレーニングを中心にした救急救命法の習得  
→ 2年次「総合的な学習の時間」に通年で実施
- ② 赤ちゃん及びその保護者との交流  
→ 1年次「家庭総合」で10月20日(金)・24日(火)に実施
- ③ 「性」に関する講演会  
→ 1年生対象に外部講師を招き6月30日(金)に実施
- ④ 防災に関するとりくみ  
→ 7月14日(金)に、防災委員が名古屋市港防災センターを訪問し、職員よりよりに防災に関して講義・指導を受ける  
→ 9月1日(木)・11月9日(木)に、防災新聞を発行  
→ 9月28日(木)に、名古屋市消防局より職員を派遣してもらい、1年生を対象に煙道体験を実施  
→ 11月10日(金)に、修学旅行先の神戸で2年生(276名)が、人と防災未来センターを見学

## II 「心」に関わって：

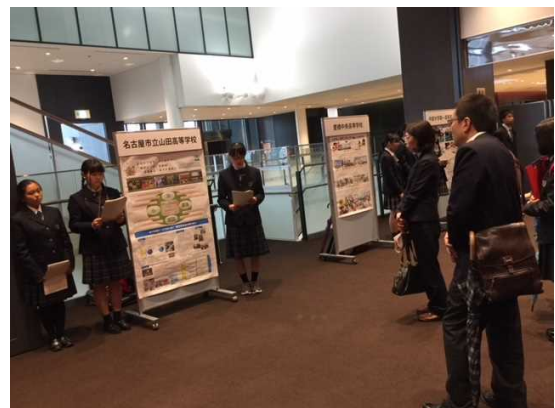
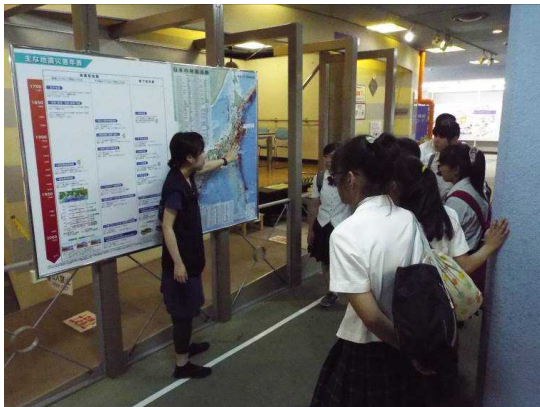
- ① 近隣にある特別養護老人ホームの入居者との交流  
→ 美術部・写真部生徒の作品を施設に展示（定期的に作品を入れ替え）  
アンサンブル部が施設でクリスマスコンサートを実施

## III 「環境」に関わって：

- ① 学校北側を流れる新川の水質検査  
→ 2年次「総合的な学習の時間」に通年で実施  
→ 1月21日（日）に市科学館で開催された「高校生科学の祭典」でとりくみを発表
- ② 学校周辺の清掃活動  
→ 6月5日（月）に生徒・教職員・保護者で実施

## IV ユネスコスクール活動全般に関わって：

- ① 愛知県ユネスコスクール交流会に参加  
→ 10月29日（日）に、東海市芸術劇場にて、愛知県ユネスコスクール交流会に参加、ポスターセッションを行う



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(「命」「心」「環境」を大切にする人間教育 )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 学校教育活動全般 )	

#### エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

- これからのユネスコスクールを考えよう
- ユネスコスクールESD優良実践事例集
- 文部科学省H

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校が平成24年12月に「ユネスコスクール」に認定される要因となった、「人間教育」の根幹をなす取組が「若竹プロジェクト」である。校内に若竹プロジェクト委員会（ユネスコスクール委員会）を設置し、全校的な組織として様々な教育実践を企画・運営している。具体的には、総合的な学習の時間を中心として教科・特別活動・部活動など、学校教育全般を通じて実践している。総合的な学習の時間の年間指導計画を始め、年間行事予定の中に取組を計画的に配置し、年間を通じた実践をしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

若竹プロジェクト委員会（ユネスコスクール委員会）を定期的開催し、年間指導計画を立てるとともに、それぞれの取組について全職員で情報共有を図り、実践している。また、部活動やHR活動での実践の場合は、生徒会執行部や各種委員会とも連携し生徒が主体的に取り組めるよう工夫をしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校の教育活動全体に対し、内部評価（教職員による自己評価）と外部評価（学校関係者・保護者）を実施し教育活動の改善に努めている。今後のユネスコスクールの取組に関しては、時代とともに変わる課題とも向き合えるように働きかけ、若竹プロジェクトの取組が、生徒の健やかな成長により一層寄与できるように努めていきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

3年前からユネスコスクール交流会に参加し、ポスターセッションを通して活動の報告をしている。今年度は「心」に焦点をあて、「本と出会い、こころをつなぐ図書委員会の取組」と題して報告をした。この活動を通して生徒たちは、学校での日々の活動について自信を得ることができた。また、今後若竹プロジェクトを企画していく際の、新しい視点を認識することができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

防災に関して、各クラスから2名選出されている防災委員が、毎年大学や防災施設を訪れ研修をしている。昨年度は大学の研究施設で見学研修と講義の受講、今年度は名古屋市の防災センターの見学研修を実施した。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

名古屋市立高校間の情報交換とユネスコスクール交流会においての交流・情報交換。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

若竹プロジェクトをイベント的な取組ではなく、年間通した教育活動として位置づけ、学校教育活動全般を通して、継続的に実践することにより、生徒たちは「命」「心」「環境」に関する意識が高まり、人間教育の成果が着実に積み上げられている。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

I 「命」に関わって：

- ① AED トレーニングを中心にした救急救命法の習得  
2 年次「総合的な学習の時間」に通年で実施
- ② 赤ちゃん及びその保護者との交流  
1 年次「家庭総合」で 10 月に実施
- ③ 「性」に関する講演会  
1 年生対象に外部講師を招き 5 月に実施
- ④ 防災に関するとりくみ  
7 月に、防災委員が外部の防災施設を訪問  
9 月・11 月に、防災新聞を発行  
9 月に、名古屋市消防局より職員を派遣してもらい、1 年生を対象に防災体験を実施  
11 月 10 日（金）に、修学旅行先の神戸で 2 年生が、人と防災未来センターを見学

II 「心」に関わって：

- ① 近隣にある特別養護老人ホームの入居者との交流  
美術部・写真部生徒の作品を施設に展示  
（定期的に作品を入れ替え）  
アンサンブル部が施設でクリスマスコンサートを実施

III 「環境」に関わって：

- ① 学校北側を流れる新川の水質検査  
2 年次「総合的な学習の時間」に通年で実施  
1 月に市科学館で開催される「高校生科学の祭典」で取組を発表
- ② 学校周辺の清掃活動  
6 月に生徒・教職員・保護者で実施

IV ユネスコスクール活動全般に関わって：

① 愛知県ユネスコスクール交流会に参加

10月に、愛知県ユネスコスクール交流会に参加しポスターセッション